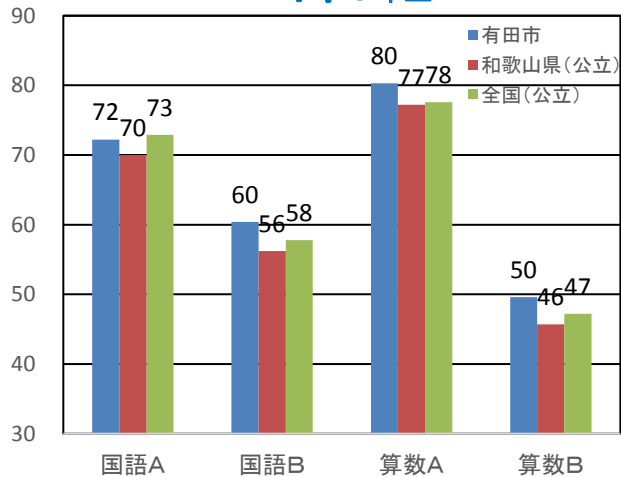


有田市の子どもの状況

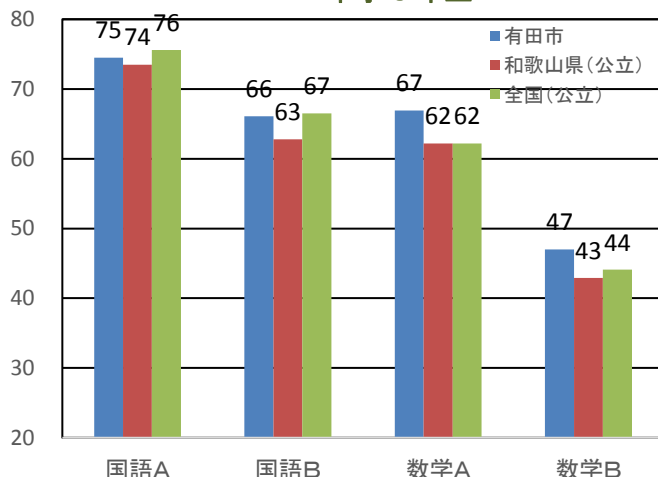
平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果から

国語 A・B, 算数・数学 A・B (Aは主として「知識」, Bは主として「活用」に関する問題) の平均正答率 (%) のグラフです。これらの結果を分析し, 教育活動の充実や日々の授業改善を図っていきます。

小学 6 年生



中学 3 年生



観点別平均正答率

全国と比較して 3%以上高い◎ 同程度○, 3%以上低い

国語、まずこのこと！

評価の観点	小6		中3	
	A	B	A	B
国語への関心・意欲・態度		◎		○
話す・聞く能力	○	○	○	○
書く能力	○	◎	○	○
読む能力	○	◎	○	○
言語についての知識・理解・技能	○		○	

着目した言葉を類義語や慣用句に置き換えたり, 比喩を用いたりして表現の仕方を広げ, 学年に応じた語彙を身に付けられるよう指導を充実します。また, 質問の仕方, 読みやすい書き方, 調べ方等国語科で培った力を各教科等で意図的・計画的に活用するよう, 学校全体での取組をすすめます。

○小学校では, 「ローマ字の読み書き」, 「インタビューメモを基に, 話し手の意図を捉えながら聞くこと」に課題がみられました。「条件にあわせて書く」記述問題では全国を大きく上回っていました。

○中学校では, 語句(「白羽の矢が立つ」等)の意味を理解し, 文脈の中で適切に使うことや, 「奥付」から本の情報を得たり, 本の探し方(情報収集の仕方)を考えたりすることに課題がみられました。

評価の観点	小6		中3	
	A	B	A	B
数学的な見方や考え方		○		◎
数量や図形についての技能	◎	○	◎	○
数量や図形についての知識・理解	○	○	◎	

算数・数学、まずこのこと！

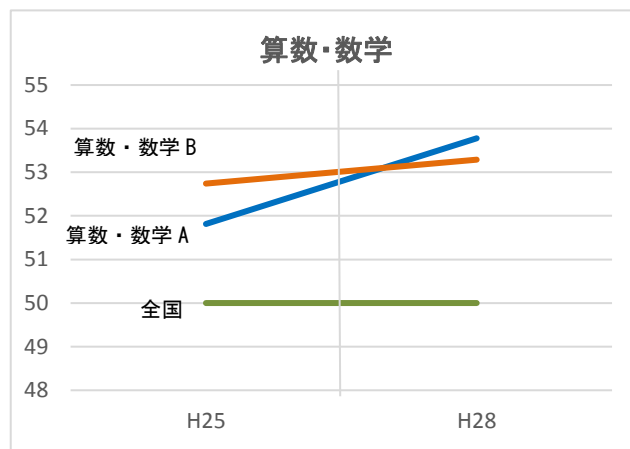
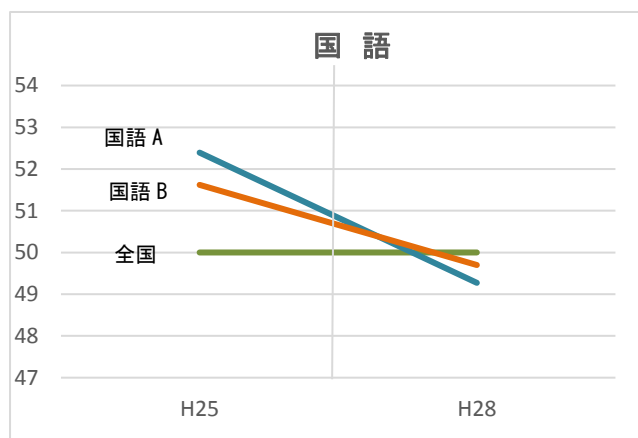
算数的(数学的)な表現を用いて方法や理由を説明する指導を一層充実します。以前からみられる課題(小…「割合」中…「移動前と移動後の図形の関係」)については, 内容を共有し, 学校全体で定着させるよう取り組みます。

○小学校, 中学校ともに算数・数学の力が着実に身に付いています。小学校, 中学校ともに, 考え方や解決方法や事柄が成り立つ理由を説明する記述の設問において, 特に大きな成果がありました。

○小学校では, 基準量・比較量・割合(百分率)の関係を図と関係付けて捉えることに課題がみられました。中学校では, 図形を対称移動する問題で, 平行移動しているといった誤答が多くみられました。

中学3年生（平成28年）を小学6年時（平成25年）と比べると…

平成28年度中学校3年生の平均正答率を、小学6年時（H25）時と比べてみました。下のグラフは、「国語」、「算数・数学」の正答率を、全国を50の基準量として比較したグラフです。



算数・数学については、十分満足できる状況です。国語については、H28年度でみると全国平均と同程度の力をつけていますが、伸びは全国に比べると低いです。義務教育9年間の系統の中での学年ごとの指導の重点を明確にし、「何を学んだか・何を身に付けたのか」を子どもたちがわかる授業を実践します。

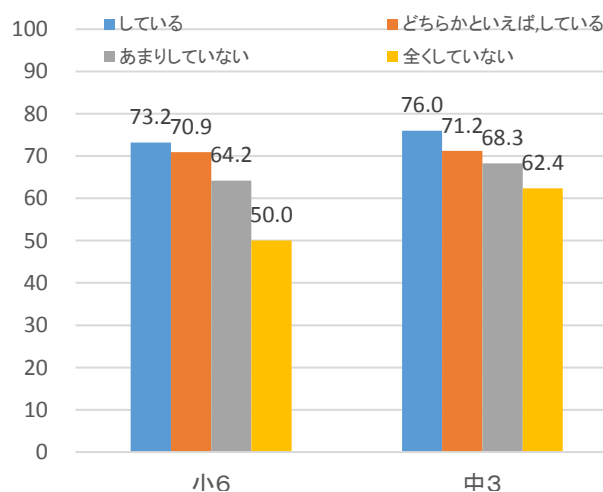
質問紙調査の結果から

基本的生活習慣に関すること～やっぱり大切！「早ね・早起き・朝ご飯」～

質問項目 (※「している」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
朝食を毎日食べていますか。	83.1	87.3	82.0	83.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	44.1	38.2	34.6	30.8
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	55.9	57.4	61.3	55.9

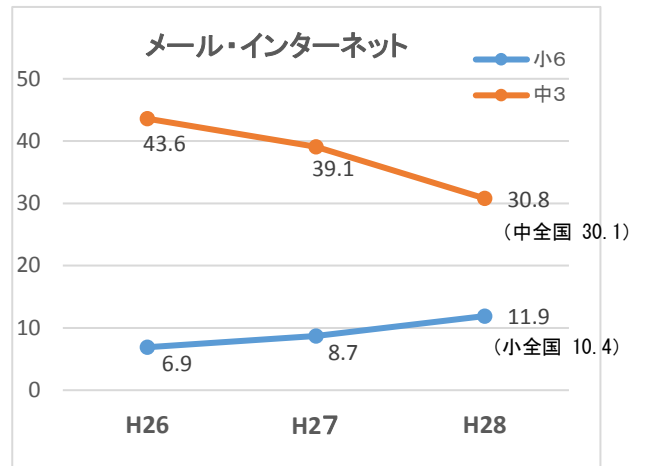
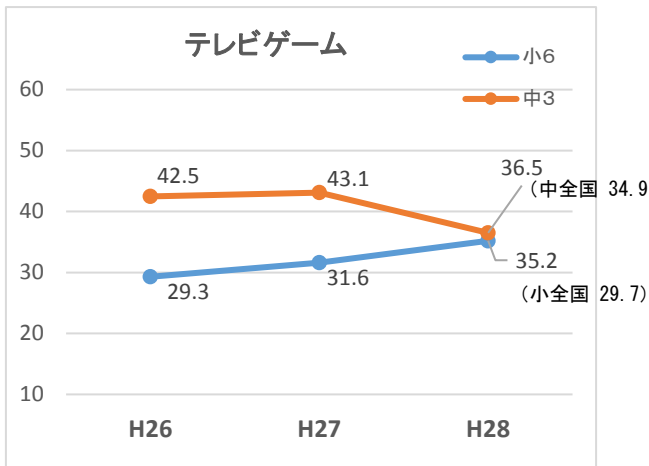
右のグラフは、「朝食を毎日食べていますか」の質問と「国語Aの平均正答率」のクロス集計です。（有田市の小学校6年生で「朝食を毎日食べている」と答えた生徒の平均正答率は73.2%で、「全く食べない」と答えた生徒の平均正答率は50.0%であるという見方をします。）

国語だけでなく、算数・数学でも同様の傾向がみられ、朝食を毎日摂る子どもと学力には相関関係がみられます。



基本的生活習慣は、健康を維持し、自分のもっている力を最大限に発揮する基盤になります。しかし、テレビやインターネット等の刺激に囲まれている現代では、「早ね・早おき・朝ごはん」の生活リズムを守るには、大人も子どもも努力が必要です。お子様の生活リズムは、身に付いているでしょうか。

普段（月～金曜日），1日当たり2時間以上テレビゲーム（コンピュータ・携帯・スマートフォン含む）やメール等をしている有田市の児童生徒の割合の経年変化



中学生での利用時間が改善傾向にあります，小学生は増加傾向にあり，特にテレビゲームの使用時間は全国を大きく上回っています。メールやインターネットなどはとても便利な道具ですが，使い方を誤るとさまざまなトラブルが起こります。使い方を正しく理解し，ご家庭でお子様としっかりと話し合っ規則を決めておくことが大切です。

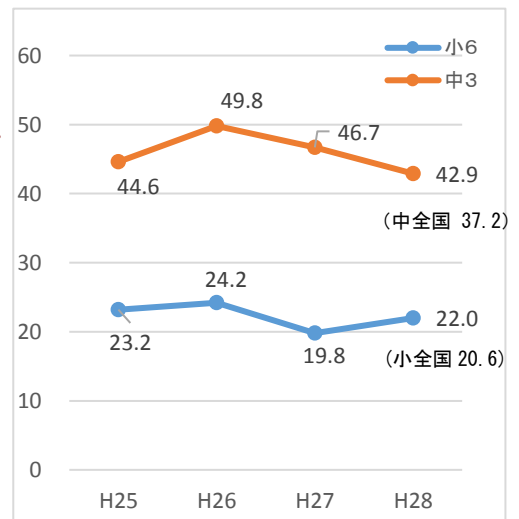
家庭学習の状況

質問項目 (※「している」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たり1時間以上勉強をしている割合（学習塾・家庭教師含む）	69.2	62.5	69.5	67.9
家で、学校の宿題をしていますか。	93.2	88.0	70.3	68.1
家で、学校の復習をしていますか。	31.4	23.5	24.4	18.4

小学生・中学生ともに全国平均を上回っています。家庭学習を毎日続けることは，周りの誘惑に打ち勝つがまん強さ，根気，集中力を育みます。また，主体性や自立性など生涯にわたって学ぶ力の基礎を培います。ご家庭での「自分で学ぶ環境（時間・場所）づくり」へのご協力をお願いします。

読書に関すること

右のグラフは、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）全く読書をしない児童生徒の割合の経年変化」です。中学校では改善がみられるものの，小学校・中学校いずれも全国平均に比べると高い傾向にあります。



学校では図書だよりなどで本の紹介をしたり，有田市教育委員会から「みんなの選んだおすすめの本」リーフレットを発行したりしています。それらを参考に，気軽に本を手にとってほしいと思います。

「いざ、読書！」(2016 読書週間標語)